はじめに

私たちの街・仙台は、現在109万を超える人口を有しながら、豊かな緑や広瀬川の清流に象徴される良好な自然環境に恵まれ、これを愛する多くの市民の皆さまの手によって、「杜の都」の愛称とともに、今日まで営々として受け継がれてきました。

「杜の都環境プラン」は、こうした私たちの共有財産とも言うべき「杜の都」の良好な環境の維持・向上を、市・市民・事業者が一体となって進める上で道しるべとなるものです。

本市においては、令和3年3月に、令和3年度から令和12年度までの10年間を計画期間とする「杜の都環境プラン（仙台市環境基本計画）」を策定しました。本計画では、目指す環境都市像として「杜の恵みを活かした、持続可能なまち」を掲げ、仙台の強みである豊かな自然環境や、市民協働で環境課題に取り組む力を活かし、環境面から持続可能なまちづくりを進めることとしています。特に、地球温暖化対策やプラスチック資源循環は、世界的にも喫緊の課題であり、これまで、市民・事業者と連携し、脱炭素先行地域の取り組みや、家庭・事業活動における温室効果ガス削減を進めるとともに、全国に先駆けて製品プラスチック一括回収を行うなど、ごみ減量・リサイクルに取り組んでまいりました。

本計画の中間年度となる令和7年度は、個別計画である「仙台市地球温暖化対策推進計画」及び「仙台市一般廃棄物処理基本計画」とともに、計画に掲げる定量目標の進捗状況などを踏まえた中間評価を行い、昨今の社会情勢や、中間評価等を総合的に勘案し、定量目標の見直しや施策の拡充など、一部改定を行ったところでございます。

環境分野を取り巻く情勢がめまぐるしく変化する時代の中、今私たちが享受している「杜の都」の豊かな恵みを未来に継承していくことは、この街に生きる私たちの責務であり、そのことを常に念頭に置きながら、本プランに掲げる目標の達成に向け、これからも各般の施策を着実に推進してまいります。

本書は、令和7年度における仙台市の環境の現況と、本市が実施した施策を年次報告書として取りまとめ、公表するものです。本市の長きにわたり受け継がれてきた豊かなみどりと、そこで育まれる多様な生態系を維持・向上させ、将来へ確実に継承していくためには、大学や企業、NPOなど、多様な主体が知識や経験を出し合い、その考え方を掛け合わせていくことが、これまで以上に重要となります。ともに手を携え、未来に向けた環境都市づくりを市民の皆さまとの協働により進めてまいりたいと考えております。

令和8年10月

仙台市長　郡　和子

目次

「杜の都環境プラン(仙台市環境基本計画)」のあらまし …… 3

「杜の都環境プラン」等の中間評価 …… 4

【特集】本市の環境分野における主な取り組み …… 6

SDGsとの関係 …… 8

第1章　本市の環境の概況 …… 9

第2章　目指す環境都市像に向けた分野ごとの取り組み …… 13

〔1〕脱炭素都市づくり …… 14
〔2〕自然共生都市づくり …… 23
〔3〕資源循環都市づくり …… 31
〔4〕快適環境都市づくり …… 39
〔5〕行動する人づくり …… 63

第3章　「杜の都環境プラン」の推進のための取り組み …… 71

〔1〕開発事業等における環境配慮の推進 …… 72
〔2〕仙台市役所の取り組み …… 74
〔3〕環境保全のための組織 …… 76

巻末資料 …… 77

Ⅰ 仙台市環境基本条例 …… 78
Ⅱ 環境関係審議会諮問事項 …… 81
Ⅲ 環境保全年表 …… 82
Ⅳ 環境基準等一覧 …… 86
Ⅴ 用語解説 …… 92